

令和4年度 第1回理事会 議事録

日 時 令和4年5月14日(土) 13:30～
場 所 北海きたえーる研修室
理事出席者 生島典明、紺屋正雄、黒田謙二、渋谷研一、
印藤智一、丸山道博、田中昌幸、齊藤幸治、
石崎 賢、川崎尚子、笹森恭之、奥山 諭、
浅野泰弘、藤原 正、川口智将、山内孝夫、
沓澤幸一、山口隆義、辻井淳一、室谷祐子、
(監事) 須田正毅、(総務) 坂本雅春(議事録)
リモート出席者 家近昭彦、伊山和宏、千葉三郎、鎌田勝広、
田中 淳、酒出 修、志出典之、中川裕之、
奈良孝伸、松野清佳

1 開 会 (齊藤総務委員長)

理事36名中30名の出席があり定足数に達しており、理事会が成立していることを報告。

2 会長挨拶

昨年度も予定していた大会の多くが中止となったが、そのような中、天皇杯皇后杯ブロックラウンドや高校選手権大会を主管協会協力のもと感染対策を講じながら開催できた。

男子V2リーグでは、ヴォレアス北海道が優勝を果たし、V1昇格をかけて臨んだチャレンジマッチで一步及ばず残念な結果となったが、来季こそは昇格を果たし、サフィールヴァ北海道、アルテミス北海道、デンソーエアリービーズと共に道内バレーボールを盛り上げてくれるものと期待している。

今年度もコロナ禍での大会運営が続くと思われるが、スポーツ界はウィズコロナの考え方も広まってきており、運営方法等について皆さんと協議してまいりたい。

2 議事録署名人選出

以降、会長が議長となり進行。

議事録署名人に生島会長のほか、田中昌幸常任理事、室谷理事を指名。

3 協議事項

(1) 令和3年度 事業報告及び決算書類等の承認について

事業報告及び決算報告について、以下のとおり説明し、評議員会に資料提出することが承認された。

【事業報告】

①総務委員会 (齊藤総務委員長)

評議委員会資料の4. 協議事項(1) 事業報告関係の④強化委員会を7ページから10ページに、⑤指導普及委員会を10ページから7ページに訂正。

役員改選期に伴う臨時会議を含め、予定した会議を開催したほか、健全な財政運営、MRS登録等について説明された。

②競技委員会（石崎競技委員長）

競技委員長会議や高校新人大会、全国社会人9人制大会等の多くの大会が中止となった。

今後は、高校選手権大会において、物販等の実施を検討することなどが説明された。

③審判委員会（川崎審判委員長）

各種会議の開催や延期されていたA級資格審査会が本年8月に実施予定であることが報告された。

Vリーグ開催に向けた審判員講習会・研修会を実施したほか、ビーチ連盟との連携により審判員の育成に努めることなどが説明された。

④指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

各種会議日程のほか、小・中学生競技大会を計画しているが、基金活用事業として予算化した「北海道中学生強化交歓会」は新型コロナの影響で中止が決定したほか、指導者養成講習会等について報告された。

⑤強化委員会（奥山強化委員長）

各種会議の開催のほか、中学生JOC北海道選抜に係る強化では、コロナによる中止も危ぶまれたが、競技方法の簡素化等の工夫により、選手・スタッフも苦慮しながら大会に臨んだ結果、男子は予選敗退となったものの、女子がベスト8進出の好成績となったことが報告された。

【決算報告】（齊藤総務委員長）

令和3年度は、前年度決算に伴う繰越額の確定や北見開催の高校新人大会助成対応に係る補正予算を編成した。

一般会計決算の収入では、新型コロナによる高校新人大会の中止により、参加料が減少したことなどにより、収入合計が15,904,276円となった一方、支出では新型コロナによる事業中止に伴い、事務費が減となり、支出合計が13,876,825円となり、収支差引2,027,451円を令和4年度に繰越す。

特別会計決算のうち「財政調整基金」では、国体少年男女ユニフォーム代を支出した結果、次年度繰越額は10,906,813円、「特別事業等基金」では、北見開催の高校新人大会助成金として一般会計に繰出したほか、協会創立90周年記念事業経費を繰出した結果、次年度繰越額は、13,574,668円、「強化・育成基金」では、審判育成事業とビーチ連盟活動支援事業に繰出した結果、次年度繰越額は5,364,106円となった。

チャレンジファンドは、寄付先変更に伴い全額を繰出し、次年度繰越額を0円としたうえで、口座解約と規程廃止を行った。

(2) 高校新人大会参加料の増額について（石崎競技委員長）

高校新人大会が恒常的な赤字運営となっており、開催地協会の負担増が懸念されるため、大会運営は大会参加費で賄うことを基本とし、参加料15,000円を20,000円とする提案が承認された。

(3) 令和4年度 一般会計補正予算（案）について（齊藤総務委員長）

今次補正は、令和3年度決算に伴う繰越額の確定や高校新人大会参加料の増額が承認されたことから措置するもの。

収入は、繰越額が 2,027,451 円となり、高校新人大会参加料の増額により当初予算より 1,700,000 円増の 18,900,000 円を見込み、支出では、高校新人大会増額分を全額大会参加料として事業費で見込むほか、未だ予断を許さない新型コロナ対策に迅速に対応するため、予備費に 1,355,000 円を措置し、18,900,000 円とすることが説明され承認された。

(4) 北海道バレーボール協会規約の一部改正（案）について（齊藤総務委員長）

事務負担の軽減と効率化を図るため、理事会承認を得たうえで運用している議事録の押印廃止について、規約上の改正を行うもので、規約第 23 条・37 条・44 条の各第 2 項中、「記名押印」を「署名」に改め、施行期日を令和 4 年 5 月 14 日とする改正案を評議員会に提案することが承認された。

(5) 役員等選考委員会運営規定の一部改正（案）について（齊藤総務委員長）

規約改正同様、事務負担の軽減と効率化を図るため、議事録の押印廃止の改正を行うもので、規程第 6 条中、「署名押印」を「署名」に改め、施行期日を令和 4 年 5 月 14 日とすることが承認された。

4 報告事項

(1) 各基金管理の取り扱い検討について（齊藤総務委員長）

協会運営の課題は、先の理事会でも説明のとおり、課題解決に向けて、着実に取組みを進める。特に、財政面の課題である基金の取扱いについて、今後、正副会長会議等で検討し、見直し案を理事会に提案する。

(2) 日協関係（印藤理事長）

新会長が就任し新たな体制となったが、道協会からは黒田副会長を評議員として推薦した。

(3) 各委員会

① 総務委員会（齊藤総務委員長）

総務委員会としては、基金管理の取扱いを重点的に進めたい。

次回の理事会は、9 月 10 日（土）北海きたえーる研修室で開催予定。

② 競技委員会（石崎競技委員長）

9 人制の実業団リーグ、実業団選手権とクラブカップ選手権は、申込が無く中止になったが、6 人制クラブカップ選手権は、男子 4 チーム、女子 1 チームの申込みがあり、6 月 4 日（土）に名寄市で開催予定。

競技委員会の「令和 3 年度から令和 4 年度への取組」について、理事会で説明する。

高校選手権大会の物販については、弁当とお茶の販売について業者と調整し、具体的に検討する。

③ 審判委員会（川崎審判委員長）

コロナで延期となっていた日 B 審査会を 5 月 7 日・8 日の大学春季総合大会で実施し、2 名が合格して 6 月 1 日から認定予定。

V リーグのラインジャッジ等の育成を札幌・旭川以外の各地区でも進める。

④指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

5月に男女分離、無観客開催となった中学選抜優勝大会の結果が報告された。

コンプライアンス研修会について、講師と日程調整し、6月以降の実施を検討する。

中学生バレーボーラーの減少、指導者の不足に対して、ジュニアキャンプや資格取得講習会を更に工夫して進めることや、部活動の地域移行に受けた対応について、情報収集を行う。

（質疑）

日本協会の指導者資格の更新は、個人で対応するのか ⇒ 個人対応となる

（4）その他

辻井理事（ヤング連盟）より、今年度、ヤング連盟創設10周年を迎える。今後、記念式典を11月12日（土）に開催予定で、詳細は別途お知らせする。

5 閉 会

【次回理事会：9月10日（土）13：30～ 北海きたえーる研修室】

議事録署名人 会 長 生 島 典 明

議事録署名人 田 中 昌 幸

議事録署名人 室 谷 祐 子